

平成 28 年度 香川大学 瀬戸内圏研究センター シンポジウム

[本城ゼネラルマネージャー]

ただいまより、平成 28 年度香川大学瀬戸内圏研究センター シンポジウムを開催したいと思います。私は当センターのゼネラルマネージャーをしております本城凡夫と申します。会議の進行と総合討論の司会まで担当させていただきますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

それでは、まず、最初に開会の挨拶を多田邦尚センター長よりお願いいたします。

[多田センター長]

皆さんこんにちは。瀬戸内圏研究センターのセンター長をしております農学部が多田です。今日は私達のシンポジウムにお越し下さいます、ありがとうございます。

当センターでは 2 年に 1 回、シンポジウムと題して、研究成果報告会を開催しております。今回は、昨年に瀬戸内圏研究センター記念学術講演会を行った関係で 2 年に 1 回が 3 年に延びてしまいましたが、本日、私達の瀬戸内圏に関する研究成果を報告させていただきたいと思えます。

ここに私達が研究対象にしているものをポンチ絵にしてみました。私達は歴史・文化・観光グループ、海と水のグループ、地域医療グルー

平成 28 年度 香川大学
瀬戸内圏研究センターシンポジウム

香川大学瀬戸内圏研究センターは、地域・社会貢献を目的として、「海」、「人文・社会」、「医療」、「本」の4つの分野からなる「瀬戸内圏研究」を推進して参りました。

本シンポジウムでは、瀬戸内圏研究の最新の成果を報告するとともに、この報告に基づき様々な立場から忌憚ないご意見を頂き、地域・社会において瀬戸内圏研究センターが果たすべき役割を、皆さまとともに考えて参りたいと思えます。

▶日 時
平成 29 年 3月1日(水) 13:00~

▶会 場
e-とびあ・かかわ(情報通信交流館)
BBスクエア(高松市サンポート・高松シンボルタワー5階)

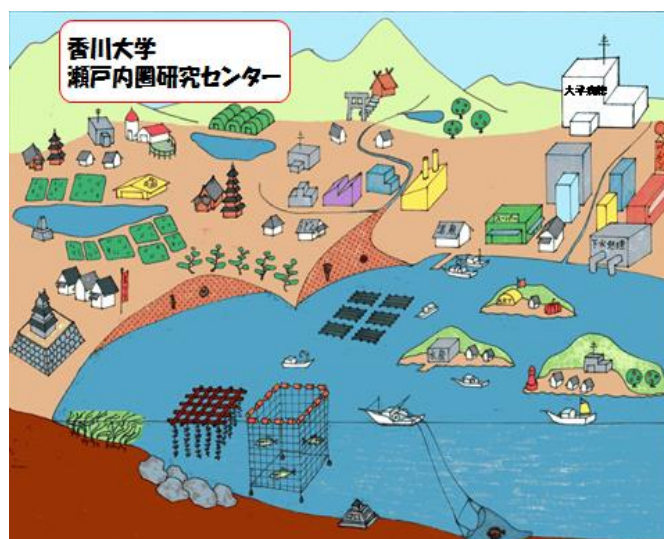
■主催
香川大学瀬戸内圏研究センター

■お問い合わせ
香川大学 学術・地域連携推進室 研究協力グループ
TEL:087-832-1316 FAX:087-832-1319
E-mail:tkyosenm@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

参加費 無料

香川大学瀬戸内圏研究センターのホームページでも案内しております
<http://www.kagawa-u.ac.jp/setouchi/>

国立大学法人香川大学



プの3つのグループに分かれて研究を行っています。

歴史・文化・観光グループでは、瀬戸内地域の遍路や歴史、そして瀬戸内地域や島が持つ文化、さらに例としてポンチ絵の中に小さく観光資源の「直島のかぼちゃ」を書いたつもりなのですが、島の観光などを研究対象にしています。今、島がどんどん過疎化しています。そうならないよう、特に最近はこの瀬戸内地域の中にあるいろいろなもの、文化も歴史も全部総合して観光資源として生かすことで、地域を繁栄させるといった方策を探るなどの研究を行っています。

海と水のグループでは、例えば干潟・藻場というものは環境という立場で見て、なぜ重要なのか、あるいはどういう機能を持っているのか、それから、香川県沿岸で問題になっているノリの色落ちの問題、カキ不作の問題。養殖場の環境悪化の問題。最も大きな問題としては漁獲量低下の問題などを取り扱っています。これは瀬戸内海に限ったことではありませんけれども、漁獲量が低下している。結局、水質がきれいになっているのに魚が獲れない。そこで、魚が取れる豊かな海にしよう。でも、今度は一般市民の魚離れが進んでしまって、我々はきれいな海で、なおかつ魚が獲れる豊かな海を目指しても、その魚を市民が食べてくれなければ漁師さんも儲からない。そして、漁師さんもいずれいなくなってしまう。そういった意味で魚食ということまで考えて、豊かな里海というものを実現する戦略を探る。そのような研究を行っています。

地域医療グループでは、香川県は多くの離島を抱えていますが、島の方達に「一番の不安は何ですか」と聞くと、まず医療。「島に診療所が無くなった」、あるいは「診療所の先生がいなくなった」と言われます。そういったこともあって、K-MIX+と呼んでいるしくみですが、当センターでは大学病院や総合病院を中心に離島の病院や山間部の病院をインターネットで繋ぎ、医療情報の有効活用を進めていく研究を行っています。

今日はそれぞれのグループから、今までの3年分の研究成果を報告させていただきたいと思っています。そして、いろいろな立場の皆様から、ご意見、コメントをいただいて、私達の研究をより良く進め、また地域に貢献できるように考えて行きたいと思っています。少し長丁場になりますけれども、それぞれの発表に対して、皆様から忌憚のないご意見を頂戴したいと思っていますので、よろしく願いいたします。